

### 人口減少と地方創生に 向き合う3つのプロジェクト

#### ① 元気創造プロジェクト

##### ▼なばり元気のもとづくり

- ・地域産品・地域資源を活用した新商品の開発や名張ブランド産品の販路拡大
- ・就業機会の確保など雇用創出と地域経済の活性化など



##### ▼多様な世代の転入促進を図る情報の発信

- ・県と連携した転入促進を図る一元的な情報発信
- ・名張をPRするシティプロモーション活動

##### ▼「訪れてよし」「住んでよし」「招いてよし」の観光都市名張の実現

- ・地域に根差した資源を活用する観光戦略の推進
- ・国際的な視野での滞在型観光の取組

#### ② 若者定住促進プロジェクト

##### ▼産み育てるにやさしいまち「なばり」の実現

- ・妊娠・出産・育児の切れ目のない相談・支援の場「名張版ネウボラ」の推進
- ・待機児童をつくらない環境づくりなど



##### ▼ライフスタイルの多様化を踏まえた暮らしの提供

- ・空き家の有効活用 ・滞在型市民農園などの企画
- ・都市と名張産農産物をつなぐ連携・交流の企画・促進

##### ▼「なばりブランド」としての「ひと」づくり

- ・幼児期、小学校、中学校の連続性などを重視した小中一貫教育の実施
- ・郷土愛を育む「なばり学」の創設 など

#### ③ 生涯現役プロジェクト

##### ▼「ともに生き ともに創る 心ふれあう幸せのまち名張」の実現

- ・地域ぐるみで行う介護予防の体制づくり、サービス提供
- ・ばりばり現役プロジェクト事業の推進



##### ▼時代に合った地域づくり、安心・安全な暮らしを守る

- ・まちづくり活動への参画促進
- ・地域の生活支援機能の複合化の企画・推進

##### ▼「ライフステージに応じた支援ができるまち」の実現

- ・既存施設や住宅などの活用を中心にさまざまなサービスをネットワーク型で提供する仕組みの整備

### ● 素案に対するご意見をお寄せください

#### 意見募集期間

6月14日(日)～7月13日(月)

市民の皆さんの  
意見を反映する

#### パブリックコメント

条例や市の重要な計画などを素案の段階で市民に公表しそれに対しての意見を考慮して意思決定を行う制度です

#### 計画期間

平成27年度～31年度の5年間

# まち・ひと・しごと創生 総合戦略 素案

人口減少と地方創生に向き合う

#### ■ 策定の背景と位置づけ

国は、人口減少の克服と地方創生に向けた「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。本市においても、今後、全国平均の倍の速度で進む超高齢社会への対応が緊急の課題です。国と一体となった取組を進めるため、人口の現状と将来展望を示

す人口ビジョンをまとめ、その課題解消に向けた施策を位置付けた「総合戦略」を5年間で集中的に実施していく予定です。

#### ■ 人口から見る現状とこれからのビジョン

市の人口は、平成12年をピークに減少しています。人口減少は、

「社会減(転出超過)」が大きな要因で20～29歳の転出超過が目立ちます。また、出生数は近年、増加傾向にありますが、死亡者数が年々増加して、出生数を上回っています。国立社会保障・人口問題研究所によると、本市の人口は平成52年に約6万人になると推計しています。

やむを得ません。しかし、転出抑制と転入促進に最大限努め、バランスの取れた人口構造基盤を確立させる必要があります。人口減少と地方創生に向き合い3つのプロジェクトを進めることで、平成52年に7万人の定住人口と、観光客などの交流人口の更なる拡大を目指します。

国と一体となった取組を進めるため、人口の将来展望を示す人口ビジョンと地域課題の解決を図る施策を示した「まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)」をまとめました。素案に対する皆さんからのご意見を募集します。

図 総合企画政策室 ☎ 63・7389

### ご意見の提出方法・提出先

計画の素案は、市ホームページ、または、市役所2階総合企画政策室・1階案内、公民館・市民センターでご覧いただけます。

#### ＜ご意見の提出方法＞

6月14日(日)から7月13日(月)までに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)に関する意見」と記入し、素案に対するご意見、氏名、住所、電話番号を書いて次のいずれ

かの方法で送付してください。

◇電子メール kikaku@city.nabari.mie.jp

◇ファクス 64・2560

◇郵送 ◇直接持参

＜提出先＞ 総合企画政策室

(〒518-0492 鴻之台1-1)

※ ご意見は広報対話室でも受け付けます。

